

ウメ輪紋ウイルス（プラムポックスウイルス）について

1 ウメ輪紋ウイルスとは

- ① ウメ輪紋ウイルス（以下「PPV」という。）は、ウメ、スモモ、モモ、アンズ、ユスラウメなどに感染する植物ウイルスです。
- ② ヨーロッパでは、果実が収穫前に落下したり、収穫できても商品にならないといった被害が出ており、生産に大きなダメージを与えています。
- ③ PPVは、アブラムシや感染した穂木や苗の移動により感染を拡大します。
- ④ PPVは植物に感染するものであり、人に感染しませんので、果実を食べても健康に影響ありません。
- ⑤ 農林水産省では、植物防疫法に基づき、感染植物や感染するおそれのある植物の移動規制を行うとともに、感染植物の伐採を行う緊急防除を実施中です。
- ⑥ ウメの場合は、葉に輪のような形の斑（ふ）が入る症状が現れます。
症状の詳細は、次の（農林水産省ホームページ）を参考にしてください。

→ http://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/keneki/k_kokunai/ppv/ppv_information.html

2 これまでの経緯及び取組状況

- ・平成21年4月、東京都青梅市のウメで、国内で初めてPPVによる病気の発生が確認されました。
- ・農林水産省と都道府県は、全国のウメ、モモ、スモモ等の主要な果樹や苗の生産園地や観光園地で発生状況調査を実施しています。
- ・その結果、新たにPPV感染植物が見つかるなど、感染の拡大が確認されており、本病のまん延防止と早期根絶が大きな課題となっています。
- ・本県では、毎年ウメとモモの生産園地、観光園地等において、発生状況調査を行っていますが、これまでのところ感染樹は確認されていません。

（参考）感染が確認された樹は伐採処分が行われ、その園地や周辺地域のおける宿主となり得る植物の移動制限を行うなど対策が取られることとなります。

3 ウメやモモを栽培・管理されている方へのお願い

- ・疑わしい症状が確認された場合は、速やかに徳島県病害虫防除所（088-674-1954）までお知らせください。